

窪川高校・四万十高校 令和7年度進路合格先一覧

窪川高校		人数
国公立大学	高知県立大学 社会福祉学部社会福祉学科	1
	高知学園大学 健康科学部学科管理栄養学科	1
私立大学	高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部	1
	高知健康科学大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法専攻	1
	高知健康科学大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法専攻	1
短期大学	高知学園短期大学 幼児保育学科	1
専修・各種学校	高知県立農業大学校 園芸学科	2
	高知県立林業大学校 基礎課程	1
	高知福祉専門学校 こども福祉学科幼児教育コース	1
	高知理容美容専門学校 美容科	2
	高知ペットビジネス専門学校 環境ペット科	1
	高知開成専門学校 システム開発科	1
	日産愛媛自動車大学校 自動車整備科	1
	大阪 ECO 動物海洋専門学校 動物・海洋科ドルフィントレーナー専攻	1
就職	トヨタ自動車株式会社	1
	日本郵便株式会社 四国支社	1
	株式会社技研製作所	1
	四万十町森林組合	2
	株式会社ヤマダデンキ	1

(令和8年3月31日現在)

四万十高校		人数
国公立大学	高知大学 農林海洋科学部	1
	高知工科大学 データ&イノベーション学群	1
私立大学	高知リハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部	1
	北海道文教大学 人間科学部	1
	西武文理大学 サービス経営学部	1
	玉川大学 農学部	1
	拓殖大学 政経学部	1
	コー・イノベーション大学 共創学部	1
	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部	1
	京都先端科学大学 バイオ環境学部	1
	大手前大学 現代社会学部	1
	九州産業大学 芸術学部	1
	高知学園短期大学 幼児保育学科	1
	徳島文理大学短期大学部 保育科	1
	専修・各種学校	龍馬情報ビジネス&フード専門学校 製菓製パン学科
龍馬情報ビジネス&フード専門学校 情報システム学科		1
辻調理師専門学校東京 調理応用技術マネジメント学科		1
神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科		1
大阪ダンス・俳優&舞台芸術専門学校 総合芸術科		1
有限会社四万十みはら菜園		1
就職	株式会社田邊建設	1
	岡林釣具株式会社	1
	株式会社城西館	1
	株式会社かに道楽	1

(令和8年3月31日現在)

進路指導のコメント

【窪川高校】

令和7年度も多く多くの生徒が、目標に向かって粘り強く取り組み、希望の進路を実現しました。今年度も「町営塾じゆうく。」とキャリア支援部が情報共有を行い、連携しながら一人ひとりの希望に合わせてきめ細かな進路指導ができました。

【四万十高校】

本校では、町営塾「じゆうく。」と連携・協力し、生徒が自分のやりたいことを模索しながら、進路実現を目指しています。令和7年度の卒業生も1年生から、総合的な探究の時間や自然環境コースの学習に粘り強く取り組んできました。個々の目標に向けても、四万十町内の多くの施設・事業所でボランティア活動やインターンシップなどの体験をさせていただいたおかげで、大きく成長しました。これらの経験をもとに面接場面では、進路先で学びたいこと、貢献したいことをしっかりと伝えることができ、進路実現につながりました。

進路実現に向けて取り組んで、できるようになったことや変化したことを両校の生徒に聞いてみました。(アンケート結果より)

- 自分の思いを簡潔に相手に伝える力がついた。
- 長期間コツコツ頑張る力がついた。
- 物事を真剣に考えること。文章を短くまとめる力。
- 今までは、考えすぎて書けないということが多かったのですが、まずは言葉にしてみるという行動ができるようになった。
- 挑戦前は絶対受からないと思っていたけど、挑戦後は絶対合格すると自信が持てた。
- 人との会話をする時の工夫すべき所を考えることができた。面接での答え方の構成について、理解できた。
- 今までは、あまり人に迷惑をかけないように、自力でやろうとすることが多かったのですが、挑戦後は、人に頼るようになった。
- 最初は、自分の伝えたいことを文章にする事が出来なかったが、今では完璧な文章は出来なくても、相手に伝わりやすいように文章化できるようになった。

お問い合わせ先 学校教育課 ☎22-2594



松元 昭夫さん
(十川体育会元会長)



あと50年続いてくれたら

四万十川の上空を約500匹が泳ぐ「こいのぼりの川渡し」。十和地域の春の風物詩として今年で52回目を迎えた。今では全国各地に同様のイベントがあるが、十川地区が発祥の地として知られている。

第1回から携わる松元昭夫さんは「子どもらが下の公園でワイワイ言うて遊びゆうのを見ると、やっぱりうれしいわね」と笑顔で話す。

始まりは1974年。子どもたちの「小学生になって家でこいのぼりを揚げてくれなくなった」という声に、十川体育会が「よし持ってこい、揚げてやる」と応えた。およそ50匹を川の上に渡して吊るすことになった。

松元さんは当時22歳で、松元建設の社員だった。社長の呼びかけのもと、体育会の活動として「川渡し」を一任された。「『全部やっちゃよけよ』と言われて。おおそうか、こういうこともせないかんがかと思うた」と笑う。

こいのぼりを揚げるには、対岸にひもを渡し、ロープ、さらにワイヤへと張り替える。今はドローンを使ってひもを渡

すが、最初は川舟に乗って対岸に行き、山中までロープを運んだ。「途中で木の枝に引っかかって、なかなか上がらなかった」。ワイヤの設置だけで丸一日がかりだったという。

役場前からJR十川駅前へと場所を移し、回を重ねるごとに地域から「うちのも揚げて」とこいのぼりが寄せられた。マスコミにも取り上げられ、全国各地からも送られてくるようになった。

こいのぼり公園が完成し、1995年からは現在の場所で行われるように。旧十和村も全面的に支援し、地域を挙げた取り組みへと定着していった。

松元さんは70歳で運営の中心からは退いたが、今も運営を手伝う。活動の楽しみは子どもたちの笑顔ともう一つ。始めた当初、こいのぼりの下で遊んでいた子どもたちが、今は運営の担い手となっていることだ。

「若いもんがよう動いてくれる。あと50年ばあ続いてくれたらええかなと、それを願うちょう」。空を舞うこいのぼりには、子どもたちと地域への思いが込められている。

町にはこんな waza も



タイピングで高知県1位に！ 宗崎 俐一さん 影野小学校5年

3年生からタイピングを始め、「やりよったら面白くなった」。土日もキーボードに向かい、高知県教育委員会が開催する「高知家タイピング選手権」(小学校中学年の部)で1位に輝いた。「めっちゃうれしかった。もっとスコアを伸ばしたい」と笑顔を見せた。



こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちよいwaza!!は随時募集中!▶

